

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	児童館事業		所管課 【2】	子育て支援課
			評価者(担当者)	濱治 裕子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり		
	主要施策(節)	(3)社会福祉の充実		
	施策区分	(1)子育て支援の充実		
(市民意識調査結果)		<input checked="" type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 児童福祉法、玉名市伊倉児童センター条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市次世代育成支援行動計画(後期計画) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 3 項 2 目 5 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	児童に地域の実情などに合わせ健全な遊びの指導を行い、健康増進及び情操を豊かにすることのほか、子ども会、母親クラブなどの地域組織活動の基地としてその育成指導を行うための地域の拠点が必要とされているため。
対象(誰、何に対して) 【9】	児童及びその保護者、母親クラブ等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	児童館は、子どもたちに遊びを保障する活動を行っており、遊びを通して考え、決断し、行動し、責任をもつという自主性・社会性・創造性を身につけるとともにその健康を増進し、情操を豊かにする。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】												
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【												
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【												
事務事業の具体的内容 【14】	公立が1館、民間が2館ある。市立伊倉児童センターは平成25年度から運営形態が直営となっている。民間児童館活動事業として若宮児童館と児童館オレンジキッズ、児童福祉施設併設型民間児童館活動事業として若宮児童館に対して補助を行っている。地域組織化駆動育成事業として、子育てハーモニーに対して補助を行っている。												
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業 【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>児童センター運営事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>民間児童館活動事業</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>児童福祉施設併設型民間児童館活動事業</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>地域組織活動育成事業</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>児童センター運営審議会事業</td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業 【15】		①	児童センター運営事業	②	民間児童館活動事業	③	児童福祉施設併設型民間児童館活動事業	④	地域組織活動育成事業	⑤	児童センター運営審議会事業
事務事業を構成する細事業 【15】													
①	児童センター運営事業												
②	民間児童館活動事業												
③	児童福祉施設併設型民間児童館活動事業												
④	地域組織活動育成事業												
⑤	児童センター運営審議会事業												

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	19,018	14,811	15,091	15,265	
	【16】 小計	19,018	14,811	15,091	15,265	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0
	職人件費	職員人工数	0.15	0.10	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小計		842	542	542	542		
合計			19,860	15,353	15,633	15,807	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 児童センター運営事業	市立伊倉児童センターの管理運営を行う。	年間開館日数	日	294	295	290	295
② 民間児童館活動事業	児童館2館への補助金交付による事業支援を行う。	年間開館日数	日	337	337	273	273
③ 児童福祉施設併設型民間児童館活動事業	児童館1館への補助金交付による事業支援を行う。	年間開館日数	日	337	337	272	273
④ 地域組織活動育成事業	地域の子育てサークル活動への補助金交付による事業支援を行う。	補助金交付件数	件	1	1	1	
⑤ 児童センター運営審議会事業	運営審議会を開催し、センター運営について審議する。	審議会の開催回数	回	2	2	2	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 児童センター及び児童館利用者数	伊倉児童センター、若宮児童館、児童館オレンジキッズの年間延べ利用者数	人	30,000	30,000	30,000	25,000
			25,468	28,228	26,211	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	児童健全育成の拠点であり、放課後、長期休暇中の子どもの安全な居場所が失われる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	児童数が減少しているため、実状に合わせた目標設定を行う。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	直営の伊倉児童センターについては、事業の内容を見直し利用者は微増している状況である。今後は、地域の協力を得ながら乳幼児等を対象とした行事を行うなど工夫をしながら事業を進める。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	児童センターが直営になった効果が、未知な部分がある。児童館との連携などで相乗効果をあげていく。	評価責任者 竹村 昌記
------------------	---	----------------